



平成 28 年 2 月 26 日

各 位

会社名 丸 八 証 券 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 里野 泰則
(コード：8700、東証 J A S D A Q)
問合せ先 マネジメント本部部長 津坂 聡
(TEL. 052-307-0850)

中期経営計画の修正に関するお知らせ

当社は、この度、下記のとおり平成 28 年 4 月から平成 31 年 3 月までの 3 年間を対象とする新たな中期経営計画を策定いたしました。この中期経営計画の策定は、3 年間の中期経営計画を一年毎に更新を行うローリング方式を採用していることによるもので、平成 28 年 3 月期第 3 四半期の実績および現在の市場環境等を勘案し、平成 27 年 1 月 30 日付で公表いたしました中期経営計画（平成 27 年 4 月から平成 30 年 3 月まで）を修正するものです。（変更箇所を下線を付しております）

記

1. 経営計画策定の趣旨

証券市場を取り巻く環境は次に記載のように大きな変化をみせております。

- ① 日本経済の大きな変化（デフレ脱却に向けたマイナス金利導入）
- ② 本格的な少子高齢化の進展
- ③ 中国をはじめとする新興国の景気減速
- ④ 「貯蓄から投資へ」に向けた変化
- ⑤ 制度改正（税制改正・マイナンバー制度導入など）

それらの変化に対応し、当社がお客様とともに発展していくための「進むべき方向」とその「戦略」を示すものです。

2. 経営方針

【基本理念】

「未来の安心のために」

お客様へ 堅実な資産形成と喜びを
株主様へ 永続的な成長と喜びを
従業員へ 考え働く幸福と喜びを
社 会へ 地元愛知への貢献と喜びを

【基本方針】

経営：透明性の高い明確なコーポレート・ガバナンス（企業統治）の確立
営業：お客様を第一に考えた収益の最大化の確立
管理：業務水準の均一化による付加価値向上の確立

3. 経営戦略

お客様の『投資パフォーマンスの向上』を最重要事項と位置づけ、営業基盤の確立・安定的な収益の確保を目指し、「成長戦略」「安定化戦略」を展開いたします。

【成長戦略】

営業基盤の拡大が最大の成長戦略と捉え、下記の方策によりその拡大を図ります。

①お客様の投資パフォーマンスの向上

- ・お客様へ適切な情報提供をおこなうことにより、お客様の投資パフォーマンスの向上に努めます。

②地域に密着した、積極的な店舗展開と人員配置による相談機能の充実

- ・既存店舗の見直しを進めるとともに、お客様と接する営業員を増員し相談機能を強化すること等により、お客様の満足度の向上に努めます。

③成長戦略を支える基盤整備による信頼の提供

- ・社員の資質向上に努め、管理部門の充実を図ることで、正確・迅速な業務を行い安心と信頼を提供し、お客様の満足度向上に努めます。

【安定化戦略】

少子高齢化や年金問題、継続する低金利等を背景に、これまで金融資産の運用に興味をお持ちでなかった方にとっても、資産運用は切実な課題となってまいります。さらにNISA（少額投資非課税制度）の充実など、政府による「貯蓄から投資へ」の後押しもあり、投資信託に対するお客様のニーズが一層大きくなることは明らかなです。

そのような環境のなか、当社は平成31年3月までに、投資信託残高1,000億円を達成し、信託報酬の増加により、経営の安定化を図ります。

4. 数値目標（平成31年3月末）

預かり資産	3,000億円（1,837億円）
うち投資信託残高	1,000億円（417億円）

※（ ）内は平成28年1月末の数値

以 上